

福岡県立大学同窓会会報

発行日 平成11(1999)年7月1日
 発行者 福岡県立大学同窓会 事務局
 住所 福岡県田川市伊田4395
 福岡県立大学 同窓会事務局
 TEL・FAX 0947-42-2777

21世紀へ、豊かな心の発信を!!

同窓会会長 矢津田克子



いよいよ20世紀最後の年となり、21世紀に向けてのビジョンが、あちらこちらで語られておりますが、皆様は、いかに考えいかにお過ごしでしょうか。

保母養成所、社会保育短期大学、福岡県立大学と、半世紀にわたって引き継がれ発展を続けてきた本同窓会は、今年で会員数3,800人になりました。

この夏(8月8日)には、春日市のクローパープラザを会場にして、18回同窓会総会を開催いたしますが、前回より更に盛大な会になるであろうと役員一同期待しております。総会が皆様に満足いただけるようなものにしたいと、常任幹事会で審議し、更に幹事会で検討して準備を進めているところです。会員の皆様もお互いに声をかけあい、誘いあって一人でも多くの方がご参加下さいますようお願いいたします。

さて、私事でございますが、去る3月31日をもって、福岡県立若久緑園を定年退職いたしました。

昭和36年に県立粕屋新光園に保母として赴任して以来、37年と10ヶ月になりますが、この間、社会はなんとめざましく急速に変化したことかと思えます。その変化の中を60の齢まで保母として勤めてきたことが、不思議な力の上昇気流に乗せていただいた、そんな気がいたします。

その昔(といいましょうか)、県立といえども施設の保母は住み込みで、児童と起居を共にすることがあたりまえ、結婚して家庭を持ち、子供を産んで働き続けることなど考えられないことでした。それが、障害者の人権がクローズアップされる中で、施設の保母も人並みの労働条件が確立され、私生活も大切にしながら勤めることができるようになりました。

そして今、施設の保母は外にも目を向け、地域に

開かれた施設とするため、新規事業にも取り組み努力しております。私はこれまで情熱を傾けてきたこれらのことから解き放たれ、老いてゆくこれからの人生を考えることが、現実のものとなりました。

近年、人々の平均寿命が飛躍的に伸び、かつて「人生わずか50年」といわれておりましたが、今は80年という長寿社会になりました。また、国民の所得水準も上がり、私たちはほんとに豊かな生活ができるようになりました。しかし、精神生活面ではどうでしょうか。

荒れた教室が報じられる「青少年教育」、人の体をむしばむ「環境汚染」、年長者の生き方が問われる「少子高齢化」など、様々な問題に直面しています。

価値観の多様化する自由で複雑な現代社会の中で、多くの人々は「もの」より「こころ」の豊かさを求めて模索し学ぼうとしています。私は、これらの問題を解決する糸口を見つけ出す学問の場として、福岡県立大学の活躍に期待するところです。

4年後には、看護学部が増設される予定とお聞きしました。「保健、医療、福祉の連携による人間としての幸せ」を追求し、「人間が人間らしく生きることができ、心豊かな福祉社会創造の旗手を育てる」大学として、発展することを確信しております。

本同窓会も大学に学ぶ機会を持ち、21世紀に向けて豊かな心の発信をし、社会の福祉化に努めたいものです。

大学の近況と当面の課題

福岡県立大学長 保田井 進



福岡県立大学の周辺の景観は、今、新緑です。彦山川の川べりは4月には一面の黄色の菜の花に彩られていましたが、河川敷も緑地に整備されて若草が萌えています。遠く東に望む福智山の山並みと香春岳三山は萌黄色の楠若葉が初夏の日ざしに眩しいほどです。

このような文章で書きはじめたのも、社会保育短

大では、「朝日がかよう香春岳、清き流れの彦山川・」という歌詞の校歌がありましたが、福岡県立大学には未だ大学歌、大学応援歌がないのです。在校生も同窓生も連帯感を深め、母校を愛し懐かしむ歌、親しまれる校歌の作成が望まれます。

さて、現在のキャンパスは約3万㎡で手狭な感じでしたが、その北側の隣接地、長く鉱害のために耕作のできない農地でしたが鉱害復旧の整地も終わって、約7万㎡が大学のために、田川市から県に譲渡されることになりました。さらに、今年の2月、県は看護学部(仮称)を福岡県立大学に2003(平成15)年4月に開学することを決定しました。

その基本計画書には、「少子高齢化の進展、医療の高度化・専門化、疾病構造の変化、人々の価値観の多様化」に対応する、新時代の看護職の育成を期待すると記されています。これによって大学は、学生1000余人の規模になるわけで、大学キャンパスのグランドデザインと学生会館、講義・実習棟などの整備が急がれることとなります。

学内組織ではありますが、昨年からの附属幼稚園を

発展的解消する形で「生涯福祉研究センター」が開設されて、地域の行政機関、組織と連携しながら、福祉用具の開発研究、高齢者問題、子どもの問題、社会計画、社会福祉調査などの研究が始まっています。

短大時代には、保育科、社会福祉科があり、大学になって人間社会学部に社会学、社会福祉学、人間形成学の3学科になりました、そして、看護学部ができようとしています。

そこには、すべての人のいのちと人格の尊重と生活と福祉の向上を目指す、一貫した理想の現実的な発展の経過として見ることもできるでしょう。

目に見える建物や規模の発展を求めめるだけでなく、形では見えないけれども、理想を内に秘めた、研究と教育と地域社会への貢献が大学の内実として豊かになることを求めています。

始動、同窓会常任幹事会!!



1997年11月の幹事会で常任幹事が互選され、常任幹事会が始動しました。同窓会会則の6条・10条に明記されていたものが、実際に動き始めたのです。常任幹事会は養成所卒業生2名・社保短卒業生3名・県大卒業生2名の常任幹事と会長(養成所卒業生)副会長(社保短卒業生2名・県大卒業生1名)の計11名で構成されています。現在は年1回発行となっている会報の発行承認をはじめ、諸規程の検討、事業計画案の作成、今年度開催の総会準備等に当たっています。

本同窓会は県立大学同窓会として4年目となり、同窓会運営も軌道に乗っています。念願でした同窓会専用の電話(FAX共通)も設置され、事務連絡がスムーズに行われるようになりました。しかし、様々な細則については諸規程が未だ整備されておらず、その場での対応に追われています。常任幹事会では、今後の同窓会運営を充実したものにするために、規程の整備を進めていく予定です。

97年度より同窓会年会費を徴収するようになり、97年度98年度で1,044名の会員の方から納入いただきました。(会費納入状況につきましては、会報P4をご参照下さい)

この会費を有意義に活用し、皆様の役に立つ情報発信源としての同窓会事業の充実、同窓生相互の親

睦及び自己研鑽をすすめるための事業等を展開していきたいと考え、同窓会の様々な事業の計画を作成していきます。

同窓会は会員一人ひとりのものです。どうぞ、いろいろなご意見を常任幹事にお聞かせ下さい。

以下、三役・常任幹事の紹介とメッセージを掲載させていただきます。なお、8月8日の同窓会総会で役員改選があります。

【三役】

会長 (養成所) 矢津田 克子

副会長 (社保短) 内田 ちづる

「県立大学は福祉教育の場として時代のニーズに沿って、養成所、短大、4年制大学へと発展してきました。同窓会は、不十分ながら事務局体制が整い、広報の発行が定着し、事業の開発発展を検討していくまでになりました。幹事会には、県大幹事が全員参加し、フレッシュなエネルギーに触れ、今からのさらなる発展が楽しみです。この時期に、10年間に渡り役員として携われたことで多く学ぶものがありました。短大の皆さん、年齢的に家事、育児、仕事に忙しいでしょうが、総会に参加して下さい。そして、知恵を貸して下さい。」

副会長 (社保短) 川上 鉄夫

「皆さんの身近な同窓会を目指して努力しており

ます。ご意見がございましたら、お手紙・FAX等でお願ひします。」

副会長 (県大) 郡谷 忠士

「日々の生活にけだるさを感じる今日この頃ですが、我が家の愛犬は非常にすばらしい。コンパニオン・アニマル万歳！」

[常任幹事]

(養成所) 糸 静子

「常任幹事でしたが、あまりお役に立ってないようで、申し訳なく思っております。延岡市に4月開学の九州保健福祉大学に就任のため、近くに引っ越しました。大学は市立植物園に隣接しており、近くに山あり川ありで、とても環境のいい所です。住まいも、ムカバキ山の裾野にあり、自然がいっぱいといった感じです。気温は福岡より3~4度高く、果物の種類が多くおいしいようです。お近くにおいでの際は是非お立ち寄り下さい。」

(養成所) 美濃部 恒子

「同窓会の当番期で幹事会に出席させていただいたことが、常任幹事をお受けすることになりました。微力ですが同窓会の発展を願って頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。」



(1999年2月28日 常任幹事会)

(社保短) 古野 祐子

「大学に近くて(直方です)会議に参加しやすいからと、常任幹事を引き受けすることにしました。微力ながら何かお役に立てればと思っています。」

(社保短) 吉丸 あけみ

(社保短) 川村 貴彦

「現在、社会福祉関係とは違う、生保・損保の代理店業務を行っています。競争社会だからこそ、お客様へのサービスに、要望に応えられるよう日々頑張っています。こんな社保短OBですけど、よろしくお願ひします。」

(県大) 蒲地 秀芳

「福岡に来て、もう8年目となりました。特に、今年はホークスの応援に熱がはっています。気持ちちは早くも、タイガースとの日本シリーズでは、どちらを応援しようかと、いらん心配をしている次第でございます。アビスパ頑張れ！」

(県大) 長久 あずみ

「初めての常任幹事でわからないことばかりですが、先輩方にいろいろと教えていただきながら、頑張りたいと思います。今年の同窓会総会には皆さんぜひきて下さいね。」



(1999年6月13日幹事会)

○同窓会事務局へのお問い合わせ

昨年9月同窓会専用のFAX電話を設置しました。今後、同窓会事務局へのお問い合わせは下記の電話番号までお願いいたします。

現在、事務局作業日(毎週金曜日10:00~17:00)には電話によるお問い合わせを受けておりますが、金曜日以外は留守録設定となっております。お名前...

卒業期・お電話番号を留守録メッセージに残していただければ、こちらからご連絡させていただきます。FAXの場合はいつでもご送信下さい。



昨年度寄付金について

98年度卒業生(県大4回生)より卒業パーティーの残金(82,650円)を4月末に同窓会宛て寄付いただきました。皆様の思いに感謝し、厚く御礼申し上げます。

また、昨年度会費徴収のおりに同窓生7名の方から、36,280円をご寄付いただきました。

これらの寄付金は同窓会活動のため有意義に活用させていただきます。

同窓会総会で次のことについて審議いたします。
 なお、1999・2000年度予算案につきましては、会計
 項目の見直しをおこなっています。

同窓会1997・98年度事業報告(案)

- 1 会報の発行
 1997年度以降、会報編集委員会を組織し、
 会報の年1回定期発行を実施。
- 2 会員名簿の整理
 現在、同窓会会員3,793名のうち、555名が住所
 不明。会報発行の際、住所不明者リストを送付
 し、会員に情報提供を呼びかけた。
- 3 同窓会総会の開催
 1997.8.13小倉ホテルにて133名の出席で開催。
- 4 大学の発展に関する協力
 大学主催の日中フォーラム・日独フォーラムへ
 協力金を拠出。
 県立大学の朝日新聞掲載に対し、広告料拠出。
- 5 学生の就職活動への援助
 卒業生へ就職情報提供の呼びかけを行った。
- 6 同窓会活動の活性化のための活動
 1997.6.7の幹事会において、常任幹事を選出、
 常任幹事会を開催、同窓会運営の充実を図った。
 同窓会FAX電話を設置。
- 7 会費納入の要請
 会報発送の際、振り込み用紙を同封し、会費納
 入の要請を行ったところ、1,044名の会員より、
 2,809,500円の納入があった。

同窓会年会費納入状況

| | 養成所 | 短大 | 県大 | 会員全体 |
|-------------------|-----|-----|-----|------|
| 97/98年度 年会費納入率 | 49% | 28% | 19% | 31% |

99年3月末

<活動状況>

1997年

- 4/7 県立大学入学式に祝電送信
 入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
- 4/30 県立大学大学院入学式に祝電送信
- 5/10 三役会議開催(福岡市)
- 5/5 大学主催:日中社会文化フォーラムに協力金
 拠出
- 5/30 大学主催:国際シンポジウム-ドイツと日本

- (福岡市・田川市で開催)に協力金拠出
- 5/25 幹事会開催(田川市:県立大学)
 会則変更審議
 同窓会会報編集委員会の設置を決定
- 6/14 第1回会報編集委員会(田川市:県立大学)
- 7/1 第2回会報編集委員会(田川市:県立大学)
- 7/1 同窓会会報第5号発行
 97/98年度会費徴収開始
- 7/6 三役会議開催(田川市:県立大学)
 幹事会開催(田川市:県立大学)
 同窓会総企画案の作成
 常任幹事の選出
- 8/17 第3回会報編集委員会開催
 同窓会総会開催(小倉ホテル)
 95/96年度事業報告・決算報告・監査報告
 97/98年度事業計画案・予算案審議
 総会講演会「憲法施行50周年にあたって」
 (講師:県立大学名誉教授 安部博純氏)
- 12/7 第4回会報編集委員会開催
- 1998年
- 3/7 安藤学長感謝の夕べに副会長・卒業生出席
- 3/18 福岡県立大学卒業式会長出席、祝電送信
 卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行
- 3/25 学長・事務局長・三役懇談会(福岡市)
- 3/26 福岡県立大学附属幼稚園閉園式に祝電送信
- 4/7 福岡県立大学入学式に祝電送信
 入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
 入学式に同窓会入会金徴収
- 5/17 第5回会報編集委員会(田川市:県立大学)
- 6/14 三役会議開催(田川市:県立大学)
 第1回常任幹事会開催(田川市:県立大学)
 同窓会会報6号発行承認
- 6/22 三役・学長懇談会開催(田川市:県立大学)
- 7/1 同窓会会報第6号発行
- 7/17 「福岡県立大学の役割と将来像を語る」
 朝日新聞掲載に広告料10万円を拠出
- 10/26 富良野塾田川公演「今日悲し別で」に際し、
 同窓会より花スタンドを贈呈
- 11/29 第6回会報編集委員会(田川市:県立大学)

1999年

- 2/27 生涯福祉研究センター主催
 「福祉用具フォーラム FUKUOKA'99」に
 花スタンドを送る
- 2/28 三役・同窓会会員ら福祉用具フォーラム参加
 三役会議開催(田川市:県立大学)
- 3/18 第2回常任幹事会開催(田川市:県立大学)
 大学学位記授与式に副会長出席、祝電送信
 卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行

決算報告(1997-98年度)

○一般会計

| 1997年度決算 | | | | | |
|----------|------|------------|-----------|-------------|----------------------------------|
| | 項目 | 1997予算 | 1997決算 | 増減 | 内訳 |
| 収入 | 1繰越金 | 1,834,267 | 1,834,267 | 0 | |
| | 2入会金 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | 新入生入会金10,000*180 |
| | 3会費 | 10,200,000 | 2,262,000 | -7,938,000 | 年会費3,000*754 |
| | 4寄付金 | 50,000 | 108,208 | 58,208 | 県大3回生より(59,208)同窓生より(49,000) |
| | 5売上金 | 0 | 8,006 | 8,006 | 名簿2,000*4 |
| | 6諸収入 | 500,000 | 704,806 | 204,806 | 総会参加費5,000*130特別会計より(44,198) |
| | 合計 | 14,384,267 | 6,717,287 | -7,666,980 | |
| 支出 | 1事務費 | 2,075,600 | 2,713,434 | 637,834 | |
| | 会議費 | 80,000 | 80,276 | 276 | 三役会・幹事会(67,886)総会打ち合わせ(12,390) |
| | 印刷消耗 | 350,000 | 701,934 | 351,934 | 会報等印刷(213,423)パソコン・プリンタ(317,520) |
| | 通信費 | 550,000 | 585,001 | 35,001 | 総会案内及び会報送付(306,990)返信葉書(175,000) |
| | 旅費 | 250,000 | 195,825 | -54,175 | 編集委員会・幹事会(182,090)総会打合せ(10,160) |
| | 渉外費 | 50,000 | 118,545 | 68,545 | 祝電・弔電・花代・記念品 |
| | 事務補助 | 795,600 | 1,031,853 | 236,253 | 事務作業等 |
| | 2事業費 | 600,000 | 693,853 | 93,853 | 総会会場費等 |
| | 3寄付金 | 200,000 | 200,000 | 0 | 日中・日独フォーラム |
| | 4予備費 | 11,508,667 | 0 | -11,508,667 | |
| | 5繰越金 | 0 | 3,110,000 | 3,110,000 | |
| | 合計 | 14,384,267 | 6,717,287 | -7,666,980 | |

| 1998年度決算 | | | | | |
|----------|------------|------------|------------|-------------|------------------------------------|
| | 項目 | 1998予算 | 1998決算 | 増減 | 内訳 |
| 収入 | 1繰越金 | 11,508,667 | 3,110,000 | -8,398,667 | |
| | 2入会金 | 1,700,000 | 1,770,000 | 70,000 | 新入学生会費10,000*177 |
| | 3会費 | 300,000 | 547,500 | 247,500 | 年会費1,500*215+3,000*75 |
| | 4寄付金 | 10,000 | 34,780 | 24,780 | 同窓生より(34,780) |
| | 5売上金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6諸収入 | 0 | 33,714 | 33,714 | 利息(1,187)特別会計より(32,527) |
| | 合計 | 13,518,667 | 5,495,994 | -8,022,673 | |
| 支出 | 1事務費 | 1,602,000 | 1,612,111 | 10,111 | |
| | 会議費 | 80,000 | 25,770 | -54,230 | 三役・常任幹事会(19,177)編集委員会(7,676) |
| | 印刷消耗 | 200,000 | 356,591 | 156,591 | 会報印刷・振込用紙印刷(155,505)FAX電話(116,025) |
| | 通信費 | 400,000 | 357,612 | -42,388 | 会報送料(302,400)電話代(12,547) |
| | 旅費 | 200,000 | 62,520 | -137,480 | 三役会・常任幹事会(43,620)編集委員会(17,880) |
| | 渉外費 | 50,000 | 95,666 | 45,666 | 祝電・弔電・花代(55,086)フォーラムへ(15,000) |
| | 事務補助 | 672,000 | 713,952 | 41,952 | 事務作業等 |
| | 2事業費 | 100,000 | 0 | -100,000 | |
| | 3寄付金 | 300,000 | 105,000 | -195,000 | 新聞掲載広告料(100,000) |
| | 4予備費 | 11,516,667 | 0 | -11,516,667 | |
| | 5繰越金 | 0 | 3,778,883 | 3,778,883 | 特別会計へ繰り出し(1,000,000) |
| 合計 | 13,518,667 | 5,495,994 | -8,022,673 | | |

○特別会計

| 1997年度-1998年度決算 | | | | | |
|-----------------|------------|------------|------------|--------|-----------------------------------|
| | 項目 | 97-98予算 | 97-98決算 | 増減 | 内訳 |
| 収入 | 繰越金 | 17,634,936 | 17,634,936 | 0 | |
| | 利息 | 0 | 76,725 | 76,725 | 97年度利息(44,198)98年度利息(32,527) |
| | 繰入金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 一般会計より |
| | 合計 | 18,634,936 | 18,711,661 | 76,725 | |
| 支出 | 繰出金 | 0 | 76,725 | 76,725 | 97年度利息(44,198)98年度利息(32,527)一般会計へ |
| | 繰越金 | 18,634,936 | 18,634,936 | 0 | |
| 合計 | 18,634,936 | 18,711,661 | 76,725 | | |

監査結果

福岡県立大学同窓会会則17条の規定により、同窓会会長から提出のあった、会計簿、預金証書及び証拠書類の各事項について監査しました。その内容が適正であることを認めます。

1999年6月17日 福岡県立大学同窓会 監査 月脚 雅子



浦田 ヨシエ



同窓会1999・2000年度事業計画(案)

- 1 会報の発行
第7号(1999年)・第8号(2000年)を定期発行。
卒業・入学時に臨時号を発行。
- 2 会員名簿作成・発行
会員の連絡先・氏名等変更の際、随時会員の通知により名簿整理を実施する。
住所不明者のリストを作成、会報発送時に同封し、会員の住所判明に努力する。
卒業生については、新住所報告を依頼し、通知により名簿を作成する。
2000年度同窓会名簿発行にむけ、名簿作成委員会を組織し、名簿の企画・作成にあたる。
- 3 同窓会総会の開催(福岡地域)
- 4 大学の発展に関する協力
大学主催の事業等に協力する。
- 5 学生の就職活動への援助
卒業生へ就職情報提供を呼びかける。
- 6 同窓会運営の充実
 - ①運営に関する諸規程の整備
常任幹事会にて、諸規程の審議・整備を行う。
 - ②会費納入の要請・徴収
会報発送の際、年会費の振込用紙を同封するとともに、会費納入の要請をする。

<活動予定>

1999年

- 4/7 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈呈
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式にて同窓会入会金徴収
- 5/中旬 第7回会報編集委員会開催
- 6/中旬 三役会議開催
第3回常任幹事会開催
幹事会開催
第8回会報編集委員会開催
- 6/下旬 同窓会会報第7号発行・郵送
- 7/上旬 1999年度・2000年度会費徴収開始
- 8/8 同窓会総会開催
(春日市：クローバープラザ)
同窓会総会懇親会
(福岡市：ステーションプラザ)
97/98年度事業報告・決算報告・監査報告
1999/2000年度事業計画案・予算案審議

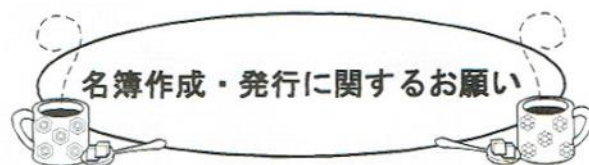
- 10~12 第1回名簿作成委員会開催
- 11/下旬 第9回会報編集委員会開催
- 12/上旬 会員に向けて名簿作成の為の住所確認依頼
同窓会名簿申し込み開始

2000年

- 2/中旬 第4回常任幹事会開催
- 3/中旬 福岡県立大学卒業式に際し、祝電・花スタンド贈呈
卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行
- 4/上旬 福岡県立大学入学式に際し、祝電・花スタンド贈呈
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式に同窓会入会金徴収
- 5/中旬 第10回会報編集委員会開催
- 6/中旬 三役会議開催
第5回常任幹事会開催
会報第8号発行承認
- 6/下旬 同窓会会報第8号発行・郵送
- 11/下旬 第11回会報編集委員会開催

2001年

- 2/中旬 三役会議開催
第6回常任幹事会開催
- 2/下旬 同窓会会員名簿発行・発送
- 3/中旬 福岡県立大学卒業証書・学位記授与式
祝電送信・花スタンド贈呈
卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行



1999年度より、名簿作成委員会を組織し、名簿の作成にあたります。1999年12月頃、名簿記載の為の住所確認並びに名簿申し込み案内を各会員宛に送付予定です。また、同窓会事務局並びに各期幹事より、電話による住所確認等を行うことがあります。その際、担当者氏名を必ず申しますので、ご確認の上、ご協力下さい。

名簿発行は2001年3月を予定しています。その間に、記載事項の変更がありましたら、速やかに同窓会事務局までご通知下さい。

尚、名簿作成にあたりまして、住所不明者のリストを作成しました。住所不明になっている方の住所等ご存知の方は、同封の同窓会総会出欠返信葉書にて、お知らせ下さいますようお願いいたします。

予算案(1999-2000年度)

○一般会計

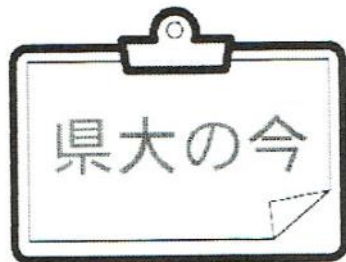
| 1999年度予算案 | | | | | | |
|-----------|-------|------------|---------------------|--------------------------|---------------------|--|
| 大項目 | 中項目 | 予算額 | 内訳 | | | |
| 収入 | 1繰越金 | (1)繰越金 | 2,778,883 | 98年度繰越金 | | |
| | 2経常収入 | (1)入会金収入 | 1,620,000 | 入会金 | | |
| | | (2)年会費収入 | 2,100,000 | 年会費 | | |
| | 3臨時収入 | (1)売上金収入 | 0 | | | |
| | | (2)寄付金収入 | 50,000 | | | |
| | | (3)請収入 | 500,000 | 総会参加費 | | |
| | | (4)雑収入 | 0 | | | |
| | 収入合計 | | 7,048,883 | ※97年度決算額(6,717,287) | | |
| | 支出 | 1事務局費 | | 1,310,960 | ※97年度決算額(2,704,089) | |
| | | 2事業費 | (1)会議費 | 90,000 | 三役会・常任幹事会・幹事会 | |
| (2)旅費 | | | 144,000 | 三役会・常任幹事会・幹事会 | | |
| (3)印刷消耗費 | | | 80,340 | コピーカード・インク・用紙・文具 | | |
| (4)備品費 | | | 30,000 | | | |
| (5)人件費 | | | 810,000 | 賃金 | | |
| (6)通信費 | | | 82,620 | 郵便代・電話代・資金庫料 | | |
| (7)渉外費 | | | 74,000 | 卒業式・入学式花代・祝電・弔電・その他 | | |
| 2事業費 | | | 1,919,750 | ※97年度決算額(693,853+20,000) | | |
| | | (1)会議費 | 744,000 | 編集委員会・総会打合せ・同窓会総会 | | |
| | | (2)旅費 | 48,000 | 編集委員会・総会打合せ | | |
| | | (3)印刷消耗費 | 281,250 | 会報印刷・タックシール・用紙・封筒等印刷 | | |
| | | (4)通信費 | 375,000 | 会報送付・総会返信郵便代 | | |
| | | (5)人件費 | 121,500 | 会報送付・総会 | | |
| | | (6)寄付金 | 300,000 | 大学への協力 | | |
| 3予備費 | | (1)予備費 | 120,000 | | | |
| | | | 120,000 | | | |
| 4繰越金 | | (1)特別会計繰入金 | 500,000 | | | |
| | | (2)繰越金 | 3,198,173 | | | |
| 支出合計 | | 7,048,883 | ※97年度決算額(6,717,287) | | | |

2000年度予算(案)

| 大項目 | 中項目 | 予算額 | 内訳 | | | |
|----------|-------|------------|---------------------|---------------------|---------------------|--|
| 収入 | 1繰越金 | (1)繰越金 | 3,198,173 | 99年度繰越金 | | |
| | 2経常収入 | (1)入会金収入 | 1,620,000 | 入会金 | | |
| | | (2)年会費収入 | 300,000 | 年会費 | | |
| | 3臨時収入 | (1)売上金収入 | 0 | 名簿売上金 | | |
| | | (2)寄付金収入 | 50,000 | | | |
| | | (3)請収入 | 0 | | | |
| | | (4)雑収入 | 0 | | | |
| | 収入合計 | | 5,168,173 | ※98年度決算額(5,495,994) | | |
| | 支出 | 1事務局費 | | 1,024,160 | ※98年度決算額(1,602,556) | |
| | | 2事業費 | (1)会議費 | 40,000 | 三役会・常任幹事会・幹事会 | |
| (2)旅費 | | | 64,000 | 三役会・常任幹事会 | | |
| (3)印刷消耗費 | | | 80,340 | コピーカード・インク・用紙・文具 | | |
| (4)備品費 | | | 30,000 | | | |
| (5)人件費 | | | 648,000 | 賃金 | | |
| (6)通信費 | | | 87,820 | 郵便代・電話代・資金庫料 | | |
| (7)渉外費 | | | 74,000 | 卒業式・入学式花代・祝電・弔電・その他 | | |
| 2事業費 | | | 943,500 | ※98年度決算額 | | |
| | | (1)会議費 | 14,000 | 編集委員会 | | |
| | | (2)旅費 | 18,000 | 編集委員会 | | |
| | | (3)印刷消耗費 | 158,750 | 会報印刷・タックシール・用紙 | | |
| | | (4)通信費 | 315,000 | 会報送付 | | |
| | | (5)人件費 | 87,750 | 会報送付作業 | | |
| | | (6)寄付金 | 300,000 | 大学への協力金 | | |
| 3予備費 | | (1)予備費 | 120,000 | | | |
| | | | 120,000 | | | |
| 4繰越金 | | (1)特別会計繰入金 | 500,000 | | | |
| | | (2)繰越金 | 2,580,513 | | | |
| 支出合計 | | 5,168,173 | ※98年度決算額(5,495,994) | | | |

○特別会計

| 1999年度2000年度予算案 | | |
|-----------------|------------|-----------|
| 項目 | 予算額 | 内訳 |
| 収入 | | |
| 繰越金 | 18,634,936 | |
| 利息 | 60,000 | |
| 繰入金 | 1,000,000 | 一般会計より |
| 合計 | 19,694,936 | |
| 支出 | | |
| 繰出金 | 60,000 | 利息分を一般会計へ |
| 繰越金 | 19,694,936 | |
| 合計 | 19,754,936 | |



○生涯福祉研究センターについて

同窓生の皆さんこんにちは。昨年4月に学内措置で設置された本研究センターでは昨年以下のような事業を開催しました。

- 1 学術フォーラム
- 2 保育者のためのリカレント講座
- 3 研究報告会
- 4 福祉用具フォーラムFUKUOKA'99
- 5 研究叢書等の発行
- 6 研究プロジェクトの立ち上げ
- 7 その他

そして、今年度の予定は

- 1 保育者のためのリカレント講座
- 2 「お父さん・お母さんのための？」
- 3 福祉用具関係のフォーラム
- 4 研究叢書等の発行
- 5 研究プロジェクトの立ち上げ(現在9プロジェクト)
- 6 その他

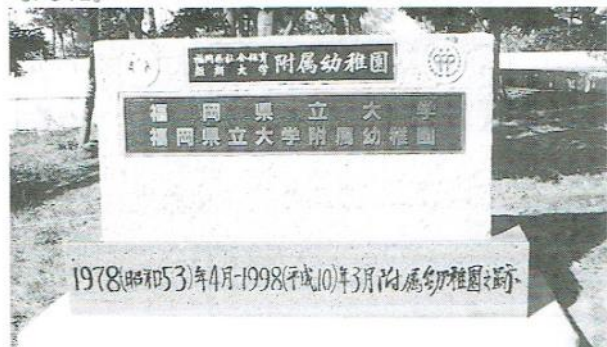
関心のある方たちは、このような事業のほとんどに参加することができます。また、研究プロジェクトでは地域の皆さんと研究会を開いているものもあります。

関心のある方は、Tel&Fax 0947-42-2119 (中藤; 同窓生です)までご連絡ください。

また、当センターのホームページができました。<http://www.fukuoka-pu.ac.jp> の中『生涯福祉研究センター』というところです。一度ご覧ください。

福岡県立大学附属幼稚園の記念碑が出来ました。

附属幼稚園の修了見親子を中心に寄付金が集まり、昨年11月8日に附属幼稚園記念碑が完成披露されました。



○その他の地域開放講座について

県立大学は、地域社会に開かれた大学として、身近な学問領域で広く地域の皆様との交流を目指し、毎年様々なテーマで公開講座を開いています。

平成11年度福岡県立大学公開講座Ⅰ

テーマ: 「転換期の社会福祉の展望」

日時: 6月5日～7月17日 全7回シリーズ

場所: 県立大学

※締切が5月末でしたので、ご了承下さい。

平成11年度福岡県立大学公開講座Ⅱ

テーマ: 「21世紀への地域づくり、人づくり」

日時: 8月21日～10月9日

全7回シリーズ 土曜日2:00～4:00

講座場所: 行橋市

※詳細についてのお問い合わせは県立大学:教務課まで(TEL0947-42-2118)

※公開講座等の情報は県立大学ホームページでもご紹介しています。<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

大学教員動向

平成10年度からの先生方の簡単な動向についてお知らせいたします。

<退官された先生>※かつこ内は在職期間です。

阿部 和光教授 (H3.4.1～H6.3.31社保短
H5.4.1～H11.3.31県大)

川原 弘之教授 (S51.4.1～H6.3.31社保短
H5.4.1.～H11.3.31 県大)

李 秀英助教授 (H5.4.1～H11.3.31 県大)

昨年退官されました武内勝彦先生は、県立大学名誉教授を授与されました。

※会報5・6号に掲載いたしました県大を退官された先生方の在職期間はH5.4.1～ではなくH4.4.1～です。ここにお詫びと訂正をさせていただきます。

<新しく着任された先生>※かつこ内は着任日です。

中村 晋介講師 (H10.8.15)

神谷 英二講師 (H10.10.1)

西原 尚之講師 (H11.4.1)

平部 康子講師 (H11.4.1)



訃報となりますが、昭和42年4月1日から昭和51年3月31日まで社保短にご在職なされた、黒谷九平先生が1997年9月死去されております。ご冥福をお祈りいたします。

社保短・県大元学生課長(同窓会担当)浜井菊男氏が1998年12月死去されました。ご冥福をお祈りいたします。

県大生の就職状況

(県立大学学生課調べ)

平成10年度卒業生の就職状況は、3月31日現在、卒業生175名のうち、就職者104名、進学者5名です。

就職先としては民間企業・病院・社会福祉施設・保育所・公務員・その他となっています。

平成10年度卒業生就職状況一覧表

| | 卒業生 | 民間企業 | 病院 | 社会福祉施設 | 保育所 | 公務員 | 大学院 | その他 |
|--------|-----|------|----|--------|-----|-----|-----|-----|
| 社会学科 | 55 | 26 | 1 | | | 3 | 3 | 2 |
| 社会福祉学科 | 63 | 3 | 10 | 23 | | 3 | 1 | 4 |
| 人間形成学科 | 57 | 15 | 2 | 1 | 2 | 7 | 1 | 2 |
| 計 | 175 | 44 | 13 | 24 | 2 | 13 | 5 | 8 |

在学生・卒業生への求人情報提供につきましては、同窓会活動として取り組んでいます。職場や関係機関での求人情報がありましたら、県大学生課まで、是非ご連絡ください。

TEL 0947-42-2118 (福岡県立大学 学生課)

サークル紹介

○県大バスケット部

女子バスケット部部长
富上 成美
(社会福祉学科3年)



私たち県大バスケット部は男子バスケット部10人、女子バスケット部28人でプレイヤー・マネージャーみんなでバスケットを楽しんでいます。練習は火曜・木曜・金曜と週3回行っており、試合前には普段より一層力を入れ、「常勝」の旗を掲げて練習に励んでいます。女子バスケット部は強いチームとは言えませんが、社会人の方に指導してもらいながら基礎を中心に練習し、みんながそれぞれ上達し、ゲームを楽しめるように頑張っています。一方男子バスケット部も人数は少ないのですが、キャプテンを中心に明るく、楽しい雰囲気練習しています。男女共に「バスケットが好き」が集まっており、お互いに協力し合っってバスケット部が成り立っています。大会のおりには会場が同じだと、互いに応援し合ったりして結束力は抜群です。これからも仲良く、みんなが楽しめる部であり続けていこうと思います。



ケア・マネージャー

(介護支援専門員)

とは?

今回は昨年初めて試験が実施された、ケア・マネージャー(介護支援専門員)について伺ってみました。

お答え下さったのは、介護支援専門員の社保短4期生川上鉄夫さんです。

Q: ケア・マネージャーってどんなお仕事ですか?

A: 2000年実施の介護保険制度において介護が必要と認定された人(要介護認定者)の介護プランを作成したり、事業者、施設との連絡調整を行うなど、介護支援サービスが円滑に進められるようその任にあたります。なお、要介護認定で必要となる第1次調査をすることもあります。

Q: 介護プランを立てたり、介護支援サービスをする仕事なんですね、ではこの人に介護が必要だっ

とも決めるんですか？

A：要介護の認定は市町村自治体の仕事で、ケア・マネージャーは要介護認定された人の保険額に従ってその人の希望を聞きながら、受けられるケアをコーディネートするんです。

Q：どんなところで働くんですか？

A：指定居宅介護支援事業者や介護保険施設には、介護支援専門員（ケア・マネージャー）が必置となっています。このため、同支援事業所、特別養護老人ホーム、老健施設等が働く主な場所となります。なお、各市町村で介護支援専門員を採用するケースもあります。

Q：ケア・マネージャーになるには資格が必要ですか？

A：国の定める資格が必要で、県ごとに試験があります。福岡県では平成10年度は9月27日・10月11日でした。平成11年度は7月25日にあります。

Q：試験には受験資格がありますか？

A：主な該当者は次のとおりです。

①実務経験5年以上かつ900日以上

（福祉職従事者）社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、各福祉施設で相談援助業務に従事する者、福祉事務所での各福祉司や現行を行う所員

（医療関係従事者）医師、歯科医師、薬剤師、看護婦（士）、保健婦（士）、理学療法士、作業療法士等

②実務経験10年以上かつ1800日以上

各福祉施設や病院等で介護業務に従事する者
福祉関係の職場で相談援助している人や介護をしている人は資格があると思いますので一度調べてみて下さい。

Q：受験についての問い合わせはどこにすれば良いのですか？

A：福岡県の場合は県庁保健福祉部介護保険室
TEL 092-651-1111

内線2739

なお他県においては介護保険に関する介護支援専門員の受験についての窓口と尋ねると良いですよ。



ひとロメモ

○名称の変更

保母は保育士、精神薄弱者は知的障害者と名称が変更されました。

先生方からのメッセージ

<新たな発芽！>

元県立大学教授
荒牧 正憲



近況の御案内ありがとうございました。病気を重ねましたが、ともかく、元気でいます。私の故郷は田川郡金川村夏吉秋里でした。今は田川市となっていますが、当時は、山紫水明で、夏は熱く冬は豪雨の寒村でした。「県大」在職中、暇を見て、思い出の地を散策しました。片鱗だけの残骸、変わり果てた風物に接して、風雪の重みを痛感させられたこともありました。しかし、その影で、多くの新たな発芽にも目をとめることができました。なによりも大きなものの一つが「同窓会の拡大と発展」であることはいまでもありません。会員の夢を乗せていっそう大きくはばたくことを心から祈念致します。

<母校の証人としてよりよい絆を>

元県立大学教授
松永 俊文



早くも、退官後一年が過ぎました。私の人生で、在職したこの五年間は、実に密度の濃い思い出に残るしあわせな日々でした。研究や授業等のほかに、「大学広報」の刊行や「社会福祉士」国家資格取得の受験講座を開設するなど、大学草創期の基礎づくりの一端にも関わることができました。この間、教職員や多くの学生と楽しく交わり、よい心のつながりもできました。

時折、「同窓生」といわれる、色々な方がたにお会いすることがあり、その存在と活躍ぶりによるこびと深い親しみを感じています。しかし、現代社会では、物と技術に阻げられ、望ましい人と人との絆さえ希薄なものにさせられており、孤独に陥ることさえ稀ではありません。

どうか、よりよい連帯を保ち、一人ひとりがアイデンティティーを持った母校発展の証人として、胸を張って日々歩まれますよう心から願っております。

同窓生の声

<県大生に期待する>

養成所 2期生
西 福江



同窓会会報第7号の編集が始まり、関係者方々のご苦心とご配慮は如何ばかりかと存じますと共に心からお祝い申し上げます。福岡県立大学同窓会として一本化し事務局体制も整いつつあるやに聞き及んでおりますがその間の関係者方々の先見性・有形無形のご協力と支えが合っこそ今日の大同団結の成果が実ったことと会員の一人として心より深く厚く感謝申し上げます。さて私事になりますが、昭和30年4月、幼児教育者を目指し2年間の学生生活を送り資格を得て保育園に就職以来現場で一生懸命乳幼児と過ごすうちに気付いてみますとアッと言う間に44年が過ぎ去っていました。現今保育園の必要性は少子化高齢化そして不況の波に洗われ働く母親の増大の一方を辿り、子育ての使命はヒシヒシと保育園に期待されます。高い専門性、強い愛情に裏打ちされた保育の実践力、豊かな人間性が今程求められている時代はありません。県立四年大学に昇格発展した母校の経過も、まさにこの切なる時代の要請に応えられる為の必然の結果と思われまますし、此の大学で培われた①資質の高い人間性②高度な専門性を備えた卒業生の活動こそが期待されますし、私達現場に居る者は待望切なるものがあります。

<私の近況>

養成所 2期生 岸上 美智子

卒業して、早や43年。「子どもを叱るな、来た道じゃ」保育所に35年「年寄り笑うな行く道じゃ」で老人ホームに2年余の勤務、掃り箒から墓場まで、出会い、触れあいの中、色々と学ばせて頂き、退職後は、今まで私を育てて下さった方々、社会へのお返しと、ボランティア入門、障害を持つ人々、老人の介助、学童保育、育児電話相談、公民館活動等々、学習しながらお手伝い。ラブグリーン活動では、フィリピンの山奥の禿げ山に植樹、海岸にマングローブの植林、今年で5回目、又北九州市の姉妹都市に、使節団の一員として、訪中、訪韓、等に草の根外交に参加、現地の人々と友好を暖めております。又今までの趣味を活かしての「手作りおもちゃ教室」「書道教室」では、若い母親達に、手作りの暖かさ、優しさを伝えたい。お年寄りには、得意の針仕事や書道を通して、昔を偲び、リハビリを兼ねた生涯学習。乞われるままに、東奔西走の日々です。

一昨年、福岡NHK大ホールに於いて、「手づくりおもちゃ」の個展を開催。一週間の間、福岡在住の2期生等、毎日手弁当で応援に駆けつけて下さり、同期や同窓生の友情の有り難さを痛感、40年経って尚に、絆が深まる喜びを感じました。北九州在住の2期生とは、各月ごとに、食事会、小旅行を計画、昨年末には、北海道まで足を伸ばし、旧交を暖めてき

ました。家庭に於いては、長男（老人ホーム勤務・介護士）嫁（教え子で保育所保育士）孫2人。二世帯住宅で煩わされることなく24時間満喫、今、孫達と、大好きな「金子みすず」の詩に取り組んでいます。

年金で生活は、楽ではないけれど、40年、働いたご褒美と幸を噛みしめるこの頃です。「年どしに、吾が悲しみは深くして いよよ 華やぐ命なりけり」68才の現在、毎日をときめき精一杯生きています。



<同窓会>

社保短 保育科2期生 谷口 由美子

昭和45年3月、寮で共に過ごした私達は、3年後又、ここで会う約束をし、卒業していきました。早いもので、あれからもう30年近くになるんですね。同窓会は、それ以来毎年続いています。持ち回りで担当の友の家や里にお世話になりながら、家族ぐるみのおつき合いがはじまりました。ある時は新婚さん宅へ、ある時はベビーのお顔拝見と、その年々にいろいろな思い出があります。今年は、アルバムをひもときながら、出会いからの事を思い出出し、語り合いました。その中で、病により大事な友を二人亡くした事は、とても悲しい出来事でした。共に寮で過ごし、共に夢を語り合い、仕事にも人一倍情熱的だった友だけに私達の受けた衝撃は、たとえようがありませんでした。「これから、私が母のかわりに同窓会に参加してもいいですか？」と私達に言った娘さんも昨年結婚、そして出産と、ときは流れていきます。私達も熟年(?)に入り、仕事もますます忙しくなりますが、ときに流される事なく、一日一日を大切に過ごして行きたいと思います。早く亡くした友の分まで。



<人生へのチャレンジ>

社保短 社会福祉4期生 久野 智子

益婦省の夜行列車の乗客全員が一斉に「炭坑節」を歌い出す。短大社会福祉科四期生の私が大阪にやってくるのは、新幹線も通っていない25年以上前ののどかな時代でした。

保母・教職（小学校・養護学校）の資格を知的障

害児・者施設での7年間に得て、出産退職。親子劇場、子供会、PTA役員、手話グループ、ボランティア（老人ホーム・社協）と、子育てに続くのん気な主婦生活。短大でのレポート通りになりました。

平成の世になって介護福祉士になり、市の非常勤ヘルパーを振り出しに診療所の介護ヘルパー、そして今は隣市にある民間の介護支援センターの非常勤ヘルパーをしています。

お年寄りと生活の一部の共有や、入浴介助やオムツ交換が、私の心を満たします。

西暦2000年には介護保険法が施行と聞き、介護支援専門員を目指したものの見事失敗。でも、自らの質の向上を目指し再挑戦するつもりです。

家に帰れば、畑を作り、鶏を飼うという田舎暮らしなのですが、老後の夢は、暖かい海辺の町で畑を作り、パンを焼き、魚のみりん干しを作ること。それまでのしばらくは、団塊の世代の端くれらしく元気で働ければ幸いかな、なんてね。



<高石史人先生、再び福岡へようこそ！>

社保短 社会福祉科9期生
宮田 晴美



1999年まで、あと数日という何かと慌ただし師走の29日に、京都にてご活躍であられた高石史人先生が再び福岡市在住となられたことを聞き及び、40代前半という社会的にも私的にも多大な役割を期待されるようになった「社会保育短期大学9期生」が、超多忙な先生にご無理申し上げて、「先生を囲む会」を催したことをご報告します。

病気などにより囲む会と称するには、先生にご無礼かと思えるほど少人数となりましたが、卒業後22年振りに会うことのできた9期生は、県や市の福祉行政の中や家庭にあって日々格闘している面々で、在学中のやんちゃぶりから、言頭に必ずといってよいほど「あのにぎやかな」と付されたことがなつかしくなるような集まりでした。保育や福祉をめぐる社会情勢は、在学時とは激変しておりますが、先生の変わらぬ学生に対する温かい眼差しに再びふれ、また同期生の頑張りを目の当たりにして、もう一度若い頃のようなエネルギーを充電することができた有意義な一刻となりました。これも貴重な時間を割いて頂いた先生と幹事の方のお陰と、新春を迎え気分あらたになった熟年世代突入の9期生一同感謝しております。

<嘯む馬はしまいまで嘯む>

社短大 社会福祉科15期生 牛島藤香

社保短を卒業して16年、最近特に思います。勉

強や仕事というものは、充分出来る環境にあるときはサボることしか考えず、出来ないとなると無性に励みたくなるものですね。短大時代は、親から学費を出してもらい、時間が腐るほどあったにもかかわらず、勉強をやる気など全くなし。ドロ〜っと学校に行って、デレ〜っと教室に座っているだけのデブ〜とした私でした。今考えると、著名な教授陣の素晴らしい講義の数々を、ほとんど夢うつつの中で聞いていたなんて、勿体なかったと後悔ばかりです。そして、少ない時間を利用して、ヘソクリから出費し、講演会や大学の市民公開講座などを聴講している現在。そりゃあ、もう、最前列で必死にノート執ったり、質問したりして。時間もお金も自腹切ると、気合いが違います。

仕事（フリーランスライター）も同じで、子供が病気になる仕事が出来ないと焦ります。普段は締め切りギリギリにならないと、ワープロの電源さえも入れない……。

「嘯む馬はしまいまで嘯む」って事ですね。
チャン♪チャン♪



(左から田上睦美、山下智恵子、上村恭代、小川浩美、五反田尚美、上段、筒井藤香 98年夏)

<友達へ>

県大 社会学科3回生
足立 英之



福岡県立大学を卒業して間もなく1年がすぎました。働き疲れ、この1年ですっかり老けてしまいました。学生の頃が懐かしくなるとは時々卒業アルバムを取り出しています。今よりも1日が長くてもっといろんなことがあったような気がします。サークル活動を通して多くの人と出会い、一緒になって一つの行事をつくりあげたことも、友達と集まって何気ない話をしたことも、お酒を飲んでハメを外したり、カラオケで踊り狂ったこともすべてが楽しい思い出として心の中に残っています。現在私は、実家の兵庫でスーパーに勤務しています。想像以上に忙しく、1日があっという間に過ぎて、時間が足りないくらいやるべきことが山のようにあります。私は惣菜売場で揚げ物や天ぷらを作ったり、巻きずしを巻いたり、けっこうバラエティーに富んだことをやらせてもらっています。もうすぐ新入社員だと言いつてもできなくなります。今の私には仕事しかないんじゃないかというぐらいで、休みもなかなかとれず、ストレスはたまる一方です。こんな時に、大学時代の友達に会えたらどんなに楽しいだろうなあとふと考えてしまいます。これを読んだ私の友達へ。お元気ですか？連絡下さい。待っています。